

啄木のふるさと『もりおかの短歌』

年間応募総数8555首

第2回 年間最優秀賞決定！

「啄木のふるさと」『もりおかの短歌』は、啄木が生れ育った盛岡を訪れる観光客や市民による啄木短歌の特徴である『三行書き』の短歌づくりを通じて「短歌のまち もりおか」を推進することを目的に昨年より実施している事業です。年間を4つの期間（夏の部・秋の部・冬の部・春の部）に分け募集。この度第2回目となる年間最優秀賞が決定いたしました。年間の応募総数は8555首、延べ504人の観光客や市民から投稿いただきました。

年間最優秀賞（1首）

言の葉のやさしきひびき

停車場の啄木思う

盛岡の旅

東京都新宿区 松下 洋子

審査員講評

○「ふるさとの訛りなつかし」啄木の歌をふまえた思いの深い一首。
○盛岡の旅に聞いた盛岡弁のやさしいひびきに、啄木が上野停車場に行き故郷の訛に親しんだという短歌を思い出している歌。啄木の歌を愛好していることが分かります。感じたことを優しく端的に表現しているのがよいと思います。
○「ふるさとの訛なつかし／停車場の人ごみの中に／それを聴きにゆく」と啄木が詠んだ「停車場」は上野駅のことです。

年間優秀賞（2首）

やわらかき稲穂の風が

啄木の

母校の風を吹きわたりゆく

茨城県久慈郡 高梨 とし

受賞者からのコメント

「昨年八月、旅の記念に一首を投稿しましたところ年間賞に選んでいただき、盛岡が一層身近な地に感じられるようになりました。記念館や古い木造校舎からは、啄木の息遣いが聞こえてくるようでした。そして、豊かな山河をつつむ風も光も啄木と共有できた喜びを味わうことができました。機会があれば、また、お訪ねしたいと思っております。『もりおかの短歌』の今後のご発展を心よりお祈りいたします。」

女神は

入り日に紅葉照り映えて

雪降る前の華やぎを見す

宮城県仙台市 沼沢 修

受賞者からのコメント

「盛岡に行ったことのない妻を連れて旅したとき、秋の女神山の美しい山貌に感動して詠んだ歌です。啄木のふるさとの山は岩手山だけではないと実感しました。」

奨励賞（1首）

盛岡に住みたる孫は

啄木を二十首そらんじ

二年生になる

宮城県富谷町 根本 由紀子

受賞者からのコメント

「奨励賞ありがとうございます。盛岡がさらに親しい街となりました。ありがとうございます。」

